

めぐみ

2024年
6月号

学校法人 聖公会北関東学園
認定こども園
初雁幼稚園
〒350-0057 川越市大手町 8-5
Tel 222-5385 Fax 228-5010

ここが私のアナザースカイ

教諭 鷲巣 春香



「学生時代の思い出は」と聞かれたら、真っ先に思い浮かぶのは、アメリカ留学です。大学3年生の春休み、海外の保育を経験するために、カリフォルニア州のサンタクルーズというところに短い期間ではありますが、留学をしていました。

アメリカの幼稚園は、新鮮で驚くことばかり！コーナー保育が設けられており、影絵やサンドアート、料理など、好きなことを自由楽しめる場所になっていました。さらにびっくりなのは、そこで先生たちは少し離れたところでコーヒーを飲みながらほほえましく子どもを見守っていて、「ここ」という必要なときにだけ、さりげなくそばにきて、助けてくれるのです。子どもが主役の保育に感心しました。また、保育室にある人形は、肌や目の色がさまざまだったり、車椅子に乗っていたりして、それに驚いた自分に、「まだまだだな」と感じた記憶もあります。

ホストファミリーや、日本語を学ぶ学生さんなど、人との出会いもたくさんありました。一生懸命英語を勉強したつもりだったのに、いざとなると、言いたいことがうまく言えない、相手が伝えようとしてくれていることもわからない…最初の数日は落ち込みました。でもこのままではいけないと、簡単な言葉とジェスチャーで、必死に気持ちをアピール。伝えたいことの半分も伝わりませんでした。日に日にホストファミリーとの仲は深まり、本当の家族のように、私を受け入れてくれました。日本に帰ってから、「あれだけ言葉が通じなかったのに、どうして仲良くなれたのだろう」と、いろいろ考えました。私は元々、「相手はどう思うだろう」と思うと言葉選びに時間がかかり、結果、言いたいことをなかなか言えないことを自分の短所だと思っていました。でも、留学をして、うまく言葉にできなくても心が通じ合えたのだから、大切なのは、「あなたのことが知りたい」「私の思いを知ってほしい」という気持ちなのかなと思いました。

今、幼稚園教諭になり、子どもたちのことを先生たちみんな考えて試行錯誤する中で、当たり前のことですが、子どもは大人の思うようにはなってくれません。「こうなってほしい」の気持ちばかりになっていると、もっとうまくいかない。もしかしたら、いろいろな言葉より、「ありのままのあなたが大切で大好き、そのままいてね」という思いがあれば十分で、あとは子どもの力を信じて、そっと背中を押すのが今の私にできることなのかな、と思っています。

今月の保育目標と予定

☆保育目標☆

今月のテーマ

「あれっなんだ」

今月のねがい

- 好きな遊びを楽しみながら、興味や関心が広がる
- 自分の気持ちを伝えようとする
- 神様の創られた自然の不思議さに目を向ける

学年別のねがい

- (1歳) 好きな場所、好きなおもちゃが見つかる
- (2・満3歳) 好きなものを見つける
- (年少組) 好きな遊びを見つけて夢中になる
- (年中組) 友だちと遊ぶ楽しさを感じる
- (年長組) 水との触れ合いや自然の不思議さに興味を持つ

ひとこと

暑い日が増え、園庭ではさっそく水遊び、泥んこ遊びを楽しんでいます。どのクラスも、大きな水たまりがあると手を入れてみたり、裸足になって入ってみたり、水との触れ合いを楽しんでいます。さまざまな生き物を発見して驚いたり、雨の季節に不思議だなと感じたり。「あれっなんだろう」といろいろな気付きをたくさんの人と共感しながら、それぞれの思いを膨らませて過ごしてほしいと願っています。

今月の聖歌

「みんなでみんなで」

★予定★

日	曜	行事などの予定
1	土	就労家庭保育実施日 庭木剪定
2	日	
3	月	
4	火	
5	水	園児歯科検診
6	木	プール開き アルミ缶回収
7	金	花の日礼拝 ↓
8	土	保育参観・キャンプ説明会(年長) 就労家庭保育実施日 電動屋根張替工事
9	日	
10	月	
11	火	
12	水	
13	木	
14	金	全体礼拝
15	土	保育参観(年中) 就労家庭保育実施日 電動屋根2階新設工事
16	日	
17	月	
18	火	おはなしの会(年中長組)
19	水	職員研修②
20	木	
21	金	全体礼拝
22	土	保育参観(年少) 就労家庭保育実施日 幼稚園委員会②
23	日	
24	月	
25	火	
26	水	6月誕生会(出し物:リコーダー)
27	木	
28	金	全体礼拝
29	土	保育部参観・懇談会 就労家庭保育実施日
30	日	



チャプレンのページ

狭い門

狭い門から入りなさい。滅びに通じる門は広く、
その道も広々として、そこから入る者が多い。

(マタイによる福音書 第7章 13節)



「晩年」という言葉があります。辞書で見ると、人生最後の数年間をさす言葉で、使い方に気をつけないと失礼になるので注意が必要とのことです。

スマートフォンのアプリで「人生時計」というのがあります。人間の一生を一日に当てはめているもので、私の今日現在の人生時計は、19時43分になります。これは平均寿命を当てはめて計算しているのしょうから、すべての人が24時にこの世の生涯を終えるのではないとしても、自分がどれぐらいの人生を歩んできたかを知る一つの指標になりそうです。私の場合、すでに太陽が出ている時間は過ぎ、夜が更けていく時間をこれから歩いていくこととなりますので名実ともに晩年かと思えば、辞書の言う「晩年」はもう少し先になるようです。そして若い人たちは自分の人生時計を見て、今、何を思うのか気になります。

標記の聖書の箇所は、イエス様がガリラヤ湖にほど近い丘の上から語られた教え、これを『山上の垂訓』と呼んでいます。その後半の部分に記されている言葉になります。

何事をするにも、困難と忍耐が必要であり、楽な道を選んでばかりいると、いつまでも大切な存在に触れることができないということになります。マタイによる福音書が書かれた時代は迫害が激しく、キリスト教を信じるのは命がけだった時代ですけれども、そうした中でも苦難を担う重要性が語られているのに驚かされます。

旧約聖書に出てくる預言者（聖書の中の預言者は、神様から言葉を預かって語る者という意味で、将来のことを語るのではないことから、予言者とは書かないのです）でも、苦難を担って生きている預言者が正しい者とされ、耳障りの良い、人々に魅力的なことばかり語るのは正しい者とはされていません。

神様を信じ、正しく生きていくには、忍耐が必要であり、困難や試練に遭遇しつつ、強められ、高められていくのだというのが、狭い門から入りなさいという言葉につながっていくわけです。

困難を感じるのは、自分に向いていないからであって、仕事にしても学びにしても、困難を感じたらさっさとあきらめて、自分に向いた、有意義に楽しい思いができる日々を求めて、新しい生き方をしていくのがよいと考える若者が増えていると言われます。

苦勞ばかりして楽しみを全く感じない生涯が有意義だというつもりはありませんけれども、現代の若者は「狭い門から入りなさい」という言葉をどのように聞いているのでしょうか。そして子どもたちはこれからどのように理解していくのでしょうか。さらに私たち子育てに励む者は、狭い門に入る生き方をどのように子どもたちに示していくのでしょうか。今、あらためてそれが問われているように思います。

(チャプレン 鈴木 伸明)

クラスの窓



つくし組

楽しいな時間

最近、発見したことをお伝えします。登園後、みんなが揃うまで子どもたちは友だちや先生と過ごしています。最後の子どもが登園してくると視線が棚の上の麦茶、牛乳、お煎餅をチラッと見て目で訴えてきます。先生たちもそれに気づき「お片付けしておやつたべようか」と言うと、「待ってました！その言葉」と言わんばかりに片付けがじょうずな子どもを先頭に「ないな〜い」と言って玩具を片付け。朝おやつタイムはどの子どもも嬉しそうです！

時間は過ぎ、10時30分前後になると楽しく過ごしていたけれどお腹が空いてきます。園庭で遊んでいても、ふと下駄箱の方へ行く子がいます。

部屋に入り配膳を見つけると「まんま！」と指差ししたり、立ったまま「トントン〜♪」と「いただきます」の手遊びをする子もいます。園生活も約2ヵ月月過ぎ、食事の量も倍食べられるようになったり、お腹が空いていて手づかみで豪快に食べる姿もみられるようになってきました。「だいこん」と言いながら食べる子、一口食べると「おいし〜」と頬をトントンと表現する子もいます。たくさん食べて一年の成長が楽しみです！

もも組

ワクワクする散歩

日々天気と相談しながら、散歩、ホールやフランス館、園庭で過ごしていますが、天気の良いある日、お祭り会館へ散歩に出かけました。といっても実際には中へ入ることはないのですが。正面入り口にある狐・ひよっこ・おかめのお面を見つけると、「着いた〜」の声と同時に思い思いにお面の真似をしているもも組のみんな。友だちの顔を見て自然と笑顔が生まれます。奥のベンチでお茶とおやつをいただくと、探検タイムの始まりです。保育者とハートの葉っぱを見つける子、木の周りをくるくると回る子、ベンチの背もたれがのぞき穴になっていると気付くと顔を出し、友だちを驚かしてとワクワクが止まらないです。ちょっとした段差を見つけるとそこは舞台になり、「ペンギン体操しよう！」の一言でみんな集まり、並んだ途端にジャンプ大会に変更され、低いところからちょっと高いところまで、自分が飛べそうなところからジャンプを何度も繰り返し楽しみました。

ちゅうりっぷ組

パンツ仲間!?

薄着になるこの季節、子どもたちに呼びかけました。「もうすぐ、プールが始まるけれど、オムツのままだと入れるかな。もうみんなちゅうりっぷ組だから、みんなプールの前にオムツをおしまいにしよう」と話しをし、「エイエイオー」とみんなで気合いを入れて翌日から、パンツに向けてのチャレンジが始まりました。早速パンツに変わる子もいれば、どうしてもパンツを履きたくない子や、トイレに行ってもなかなかおし



っこが出ない子もいます。オムツ外しに限らず、新しい一步を踏み出す時は、不安もあるし勇氣もいります。でも、「パンツになれた！トイレに行けた！」と報告してくれる子どもの笑顔は、自信と喜びいっぱいの笑顔。がんばって一步進めるよう、背中を押していきたいと思っています。

いつもパンツを嫌がるAくんがある日、「みちこ先生は、パンツ履いてるの」と聞いてきました。「もちろん！私たち、パンツ仲間だよ」と答えると隣りにいたBくんが「本当に履いてるの」と疑いの言葉を…さらにAくん「じゃあ、見せてよ」と言われてしまった私。いつも「今日はパンツ？」とチラッとズボンのゴムを引っ張ってパンツを見せてもらっていた私だったので、「ごめん、お見せできないけど、パンツは履いてるのよ」と勘弁してもらいました。ちゅうりっぷ組でパンツ仲間を増やして、プール遊びを楽しみにしていけたらと思います。

たんぽぽ組

一人一人の存在がお互いの刺激に



友だちとの遊びが大好きなたんぽぽ組。最近では園庭の固定遊具が大ブームです！一人が太鼓橋を登り出したら、あっという間に何人も集まり、登り棒に行けば、またそこに集まり、鉄棒をすれば、またまた集まってきました。他の子の姿を見ながら、自分も挑戦してみたり、「こんなこともできるよ」とその子なりの技も披露してくれます。一人一人の存在がお互いの刺激となって、日々成長のきっかけになっていると感じます。

その姿は他の場面でも見られます。朝泣きながら登園した子がいると、「どうしたの」「ママが良かったのかな」と友だちのために一生懸命考えて声をかけてくれます。それから「一緒にお支度しようよ」と手を引いてくれます。そうして過ごしているうちに、泣いていた子も気付いたら笑顔になり、遊びを楽しんでいます。

「一緒に遊ぼう！」と約束をしたり、「いーれーて」のやりとりが増えました。大好きな友だちの存在を受けて、これからいろいろなことに挑戦して行ってほしいです♪

すみれ組

みんなのこと、お手伝いしますよ！

5月の誕生会の出し物は、すみれ組が担当することになり、みんなでアイデアを出し合いました。登場するのは、「アイドル」「ポケモン」「ウルトラマン」「キングギドラ」、そして年中だったころにも出てきた「わんぱくだん」に決まりました。

「アイドル」はかわいくして、踊って、衣装も作りたい！「ポケモン」はモンスターボールを作りたい！ミライドンも作りたい！「ウルトラマン」はスペシウム光線を出したい！「キングギドラ」は羽としっぽを作りたい！そして『わんぱくだん』の3人は、テレビをみることにしたんだけど…と話す中、「リモコンを作るよ」「番号も決めるよ」ということになりました。みんなで作りたいこと、やってみたいことをもりもり盛り込んだ劇を作り上げることができました。

誕生会当日は、たくさんのお客様の歓声のなかで大成功をおさめることができ、ちゅうりっぷ組やたんぽぽ組から「あれはどうやって作ったの？やってみたい！」という声がちらほら聞こえてきました。「やってみたい」と思ったことを自分たちで実現することができるすみれ組。みんなのその気持ちをこれからもお手伝いしますよ！ぜひ、一緒に「わんぱくだん、すみれ組」を楽しみましょう!!

わが家のまど

(316) 仮住まい生活満喫中

事務 前田 悠香

わが家は現在、家建て替えているため、仮住まい中です。単身者ばかりのアパートに家族4人ギュウギュウに暮らしています。アパート暮らしの冬はさぞかし寒いと思いきや、4畳のリビングは部屋干し&エアコンのおかげで、湿度温度ともに最高に過ごしやすい空間に。6畳の寝室は家族4人ひしめき合って寝るためポカポカの空間に。ストレスばかりの仮住まいを想像していましたが、思いの外快適に過ごしています。お天気が良かった日に、「そうだ！」と思いきやクッションや枕を干そうとベランダへ。そしたら子どもたちがニヤニヤ集まってきました。激狭ベランダが、リラックススペースに早替わり。そんな仮住まい生活もあと1ヶ月ほどで終わりの予定です。「あと少しで引越しなんてなんだか寂しいね」と言ったら、「いやいや早く新居に引っ越したいでしょ！」と。そりゃそうだ。残りの仮住まい生活も楽しみたいと思います。

(317) わが家の厄年

補助教諭 佐藤 翠



みなさんのご家庭でも思わず話したくなる出来事がありますか？この場をお借りして、わが家の厄年を浄化させて下さい。

「夫→愛知へ転勤辞令。川越から通えていた狭山の部署がなくなり、退職しない限り帰れないことに。

長女→腰椎分離症（疲労骨折）。運動ができなくなりメンタル崩壊。唯一楽しみにしていた修学旅行直前でまさかのコロナに。（林間、修学旅行ともに

コロナ禍で宿泊経験なしの学年）友だちからのお土産は健康祈願お守りでした。笑

次女→こちらも初めての林間学校。（初雁幼稚園の秩父キャンプ直前に熱で行けなかった人）2日前に発熱。デジャブすぎて母は秒で諦めるも1日で熱は下がり参加。病み上がりの登山はキツすぎるし、声は出なくなるしで全く楽しめなかったそう。

母→ついにやってしまった財布紛失事件。以前、自転車のカゴ（バック）からスマホが飛び出て拾ってもらったことがあったのに。レジ前で血の気が引き、心当たりを戻るも見つからず、派出所や銀行、カード会社に電話をかけまくり、諦めた頃に派出所から電話。幸い中身はそのまま難は逃れたものの、猛反省。」

今は夫の単身赴任を家族の成長の機会ととらえて楽しもうと思っています。長女は自分をつめ直す機会になりました。次女は弱い自分を少し克服しました。お騒がせな母はホント気をつけます。苦笑 2024年は、健康で小さな幸せを集めながら静かに過ごせますように。

(318) 私の推し

調理師 鈴木 浩子



行きつけのスーパーは主に2つ。家から一番近いMマート、週末にまとめ買いをするOスーパー。Mマートはお惣菜の数は少ないし、鮮魚コーナー、精肉コーナーもイマイチだけど、いつ行っても程よく空いていて、何といってもわが家からめっちゃ近いので助かる存在。そんなMマートには、私の推しがいる。その方はちょっぴりハスキーボイスなので、魔法使いサリーちゃんに出てくるヨシコちゃんのイ

メージ。だから、心の中で勝手にヨシコちゃんと呼んでいる。ヨシコちゃんは物すごく仕事のできる方だ。そしてベテランなのだ。店内アナウンスもさらっとこなす、レジ待ちの列が私一人だけでも、すかさずサービスカウンターから、「お待ちのお客様どうぞ。」と、ヘルプに入ってくれる。そんなヨシコちゃんの一番の推しポイントは、レジ打ちした商品をスピーディーにしかもきれいにかごに入れてくれるところだ。こんなにきれいにかごに入れてくれた品物をわざわざ袋に移しかえるなんて超もったいない。だから私は絶対にマイバスケットを持参する。そうすれば、清算が終わればすぐに帰れるし、とっても合理的。これ、忙しい主婦にとっては大事なポイント。実はOスーパーにも私の推しはいる。私より年上のその方もバーコードを読み取るスピードがめっちゃくちゃ速くて正確、しかも、きれいに整った状態で次々に商品をかごに収めていく。見ていて清々しい気持ちにさえなる。他のレジより多少混んでいたって、彼女のレジに並んだ方が早く済む。お休みだとちょっとがっかりする。どんな仕事でもその道を究めた人がいる。私も日々精進しよう。



今月の聖書のおはなし



☆ 6月7日 花の日礼拝

花の日は1856年、米国マサチューセッツ州のレオナルド牧師が少年少女を導くために6月の第2日曜に特別な礼拝を行ったのが起源だと言われています。花の日礼拝は、目に見えない大きな恵みを与え、きれいな花を咲かせてくださる神様に感謝し、各家庭から持ち寄ったお花を神様にお捧げします。礼拝後は、いつも私たちのために働いてくださる市役所と東京電力へ、お捧げしたお花を子どもたちが届けにいきます。

☆ 6月14日「5つのパンと2匹の魚」

マタイによる福音書14:13~21

多くの群衆がイエス様の後を追って人里離れたところまでやってきました。夕暮れになり、弟子たちがイエス様に言いました。「ここは人里離れた所です。群衆を解散させてください。自分で村へ戻り食べ物を買に行きましょう。」イエス様は「行かせることはない。あなたがたが彼らに食べる物を与えなさい」と言いました。しかしここにはパン5つと魚2匹しかありません。イエス様はその5つのパンと2匹の魚を取り、天を仰いで賛美の祈りを唱え、パンを裂いて弟子たちにお渡しになりました。弟子たちがそのパンを群衆に与えると、すべての人が食べて満腹になりました。そして残ったパンの屑を集めると、十二の籠いっぱいになりました。

☆ 6月21日「よいサマリア人のたとえ」

ルカによる福音書10:25~37

イエス様が律法家に語られた例え話です。ある旅人が強盗に襲われ、道端に倒れていました。そこへ祭司が通りかかりましたが、そのまま行ってしまいました。次にレビ人がやってきましたが、立ち去っていきました。ところが、次にやってきたのはイスラエルと敵対関係にあるサマリア人でしたが、サマリア人は手当てをしてロバに乗せて宿屋に連れて行き、介抱しました。そして次の日、宿屋の主人に代金を渡し、不足なら帰りに支払うと言って世話を頼んで立ち去りました。イエス様は、この3人の中で誰が旅人の隣人かと尋ね、律法家は「親切なサマリア人だ」と答えました。イエス様は「行ってあなたも同じようにしなさい」と言われました。

☆ 6月28日「重い皮膚病を患っている人をいやす」

マタイによる福音書8:1~4

一人の重い皮膚病を患っている人がイエス様に近寄り、「あなたの御心ならば、私の病気を治すことができるはずですよ」と言いました。イエス様は手を差し伸べてその人に触れ「よろしい。清くなれ」と言われると、たちまち重い皮膚病は治りました。そして「だれにも話さないように気をつけなさい。祭司に体を見せ、供え物を献げて、治ったことを人々に証明しなさい」と言われました。